

風流印字

●発行 (株)和歌山印刷所

■本社

〒640-8412 和歌山市狐島609-9

TEL.073-451-4111 FAX.073-452-2631

■東京営業所

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本橋ビル 3 階

TEL.03-6658-8440 FAX.03-6658-8441

●発行年月日 2019年12月1日

年末は仕事納め・大掃除・忘年会と何かと慌ただしいですね。

こんにちは！和歌山印刷所、通称「わいん」です。

わいんでは、部門毎に開催される飲み会があるんです！

今月はわいんの「コンパ」についての特集です。



■そもそもコンパって？

「コンパ」という言葉は”company”に由来するそうです。”company”というと「会社」が浮かぶかもしれませんが、「仲間」「つきあい」といった意味もあり、そこから転じて「仲間と交流するための飲み会」をコンパと呼ぶようになりました。

弊社でも社内の部署や委員会ごとにコンパを開き、勤務中とは異なる社員同士の交流の場を設けています。

■コンパ導入の経緯

実は京セラの稲盛和夫氏も「究極の飲み会」として、コンパを推奨しています。氏の取り組みについては、アメーバ経営や5S等、弊社がアレンジして取り入れている要素はいくつかあり、コンパの導入もその一環なのです。

■わいんのコンパ

もちろんワイン以外も飲めますので悪しからず。また、飲み会といってもアルコールを飲む必要はありません。アルコールが苦手な人や車の運転がある人は、ソフトドリンクで乾杯しています。

最初は飲食をしながら、仕事に関する話をしたりしなかったりと雑談に花を咲かせ、最後は参加者全員が、今の思いや今後の目標といった真面目な話をして締める、というのがわいんスタイルです。

ちなみにわいんでは基本的に1軒目で解散し、それ以上は個々人の裁量に委ねられています。

■コンパの意義

コンパの良いところはなんといっても、普段なかなか腰を据えて話す機会がない人とも、ゆっくり語り合えるところです。働き方改革が叫ばれる時流の中で、みだりに飲み会をする必要はないでしょうが、勤務中は話しづらかったり聞きづらかったりすることも、コンパの場では簡単にできるかもしれません。

12月～1月は忘年会や新年会の名目で集まりやすい時期ですので、集まる予定のなかった方々も試してみたいかがでしょうか。

京セラ流コンパの流儀

- 一、コンパの目的を明確にする
- 二、全員参加が原則、好き寄りではない
- 三、家族的雰囲気醸成
- 四、明るく前向きな意見、
非難から建設的な意見へ
- 五、コンパの目的を噛み締める
- 六、「できるだけ安く」
「できるだけ盛りだくさん」
「酒は切らすな」
「酔え、しかし泥酔するな」
「配席と雰囲気をつくれ」
「料理はそつたか」
「十分に食べたか」という雰囲気
- 七、余興や発表会があってもよい、しかし下品ではない
- 八、若者は先輩へ、先輩は後輩に積極的に会話を交わす
- 九、コンパ終了は主催者が宣言（途中座はなし）
- 十、無礼講
（会話は対等、しかし長幼の序はある）



アメーバ経営「全員参加経営の指南書」より抜粋

風流印字（ふうりゅういんじ）…「風流韻事」の造語。興味深い記事を書いた印刷物の意。

わいわい探検隊!



総務次長なおやんが会社のインサイドをレポートします!

『断裁機』

印刷したものを仕上げるときに『断裁機』という機械を使用します。これは決められた寸法に切る機械で、わいんには3台あります。大きな機械だと一度に2,000枚の紙を切ることができます。断裁機は大きな刃がある危険な機械のため、断裁機を使う人は独自の講習を受講し、修了しないと使ってはいけません。大きな紙をあっという間に切ることができる断裁機は、とても迫力があります。工場見学で訪れた人は、断裁機に一番驚き、時には歓声があがることもあります。工場見学は常に受け入れていますので、断裁機の切れ味を是非見に来てください。



わいわい探検隊は今号をもって終了します。長らくお付き合いいただきありがとうございます。次号より新コーナーがはじまります。お楽しみに!

